

令和5年度 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施に係る 企画・調整担当者研修会開催レポート

開催日・会場：令和5年11月28日（火） 埼玉県浦和合同庁舎 庁舎棟5階講堂

一体的実施に係る企画・調整担当の医療専門職を対象とし、埼玉県保健医療部国保医療課・埼玉県国民健康保険団体連合会と共催で開催したところ、57市町村（実施市町：49、未実施市町村：8）、62名の職員が参加しました。

○午前の部：広域連合からの説明、飯能市・川口市からの事業実施状況報告、 グループでの情報交換



前半は、広域連合から事業実施状況や評価指標について説明後、2市の企画・調整担当者からハイリスクアプローチの取組について事業実施状況等をご報告いただきました。飯能市からは口腔の取組について実施方法や歯科衛生士会との連携などを、川口市からは糖尿病性腎症の取組について国保と継続した事業内容や実施上の工夫などを報告していただきました。今後、事業を見直す、また新たに取り組む上で、参考となる内容だったのではないのでしょうか。

後半は、11グループに分かれて事業の実施状況や課題など、情報交換を行いました。

○午後の部：小川町・志木市からの事業実施状況報告、

講義『一体的実施の事業展開に向けたPDCAサイクルについて』、グループワーク

前半は、2市の企画・調整担当者からハイリスクアプローチの取組について事業実施状況等をご報告いただきました。小川町からは健康状態不明者対策の取組について地域包括支援センターとの連携方法などを、志木市からは低栄養、口腔、重症化予防、健康状態不明者対策の取組について実施内容や実施体制の整備などを報告していただきました。

後半は、昨年度に引き続き文京学院大学の米澤純子教授を講師に迎え、事業展開に向けたPDCAサイクルにおける視点や、一体的実施計画書をもとにしたPDCAサイクルの考え方等についてご講義いただきました。それをふまえて、各自一体的実施計画書の見直しを行い、課題や解決策などをグループワークで話し合いました。講師からの具体的なアドバイスは、より効果的な取組を行う上で振り返るきっかけとなったのではないのでしょうか。



一体的実施は、地域の高齢者の介護予防・健康づくりのための制度です。広域連合では、市町村や県国保医療課、国保連合会とも連携し、一体的実施を推進してまいります。

参加者の声（アンケートから抜粋（要約））

- 具体的な取組内容（進め方、抽出方法等）が聞いて参考になった。規模等によりできることは異なるが参考になった。自分のまちの参考にしたい。
- 業務に追われる日々だが、誰のために、何のために行っているのか、振り返る機会になった。
- 先生の話が大変励みとなっています。目標設定、評価指標や課題について、改めて見直してみようと思う。
- 一体的実施計画書を見直すことで、客観的に事業内容等について気づきを発見することができ、大変意義のある研修の時間を持てた。